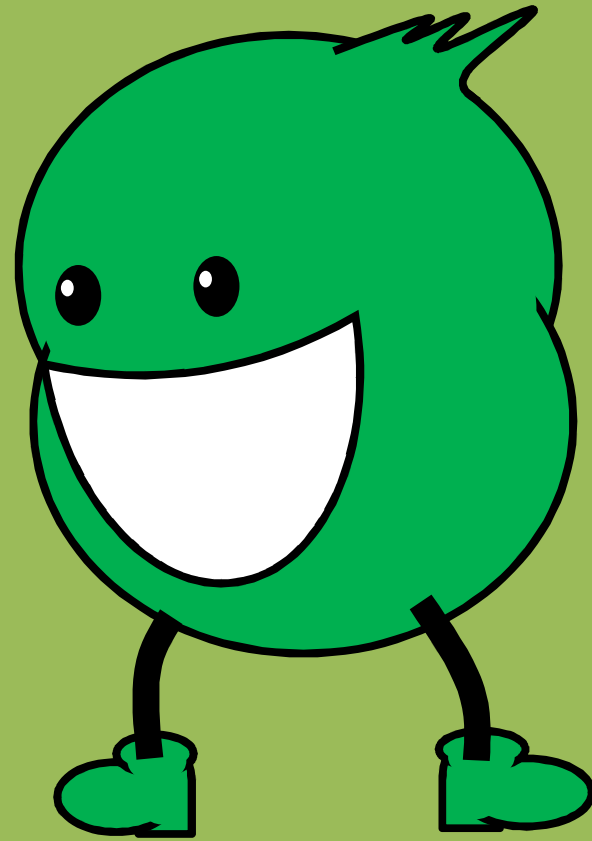


やっほー



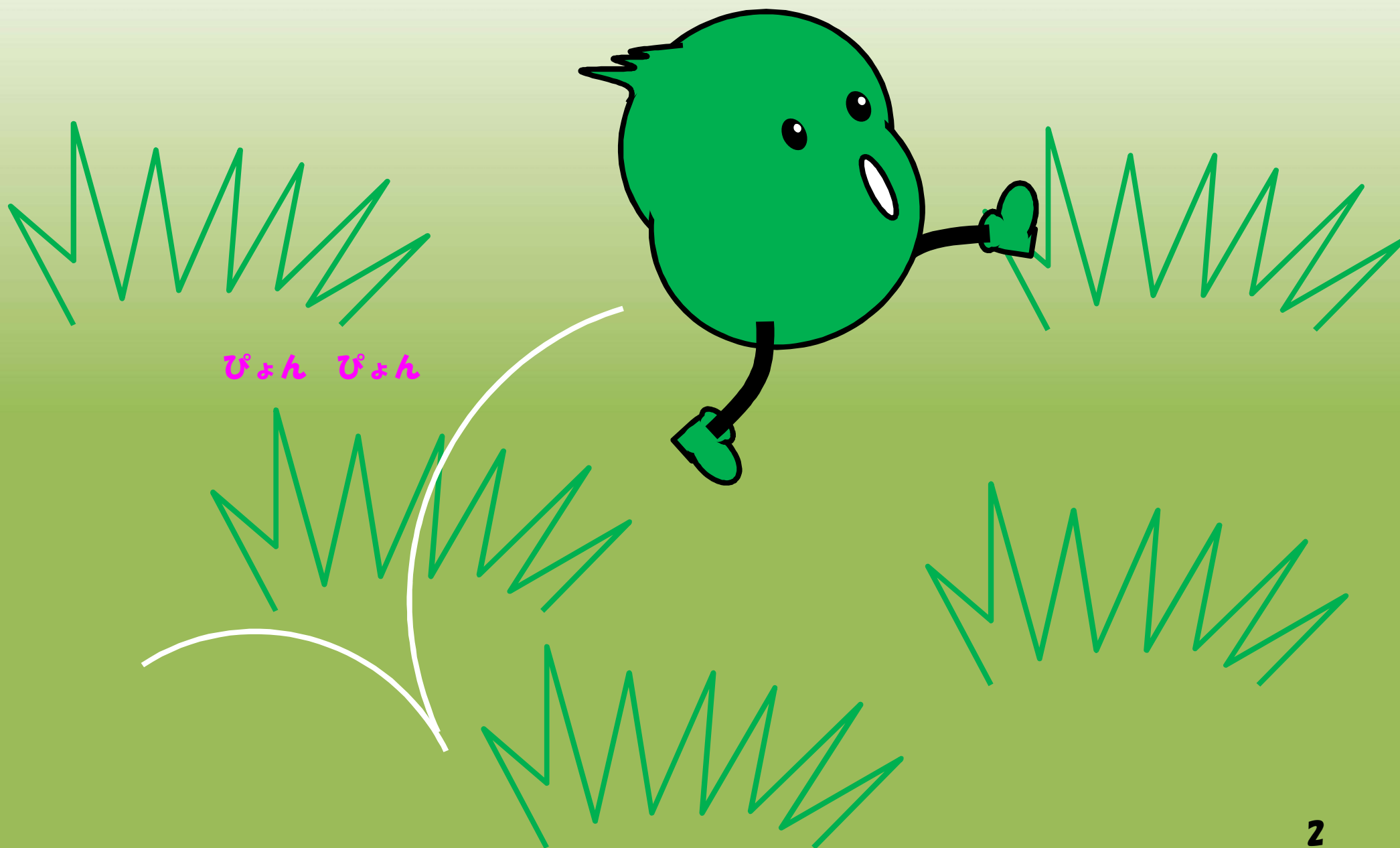
さく・え 幸徳環境設計

やっほー やっほー

しんりょくの みどりに つつまれた

やまあいこに こだまのこえが ひびきわたる。

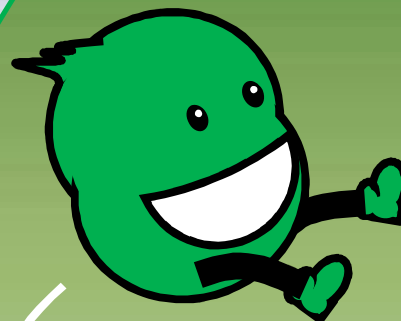
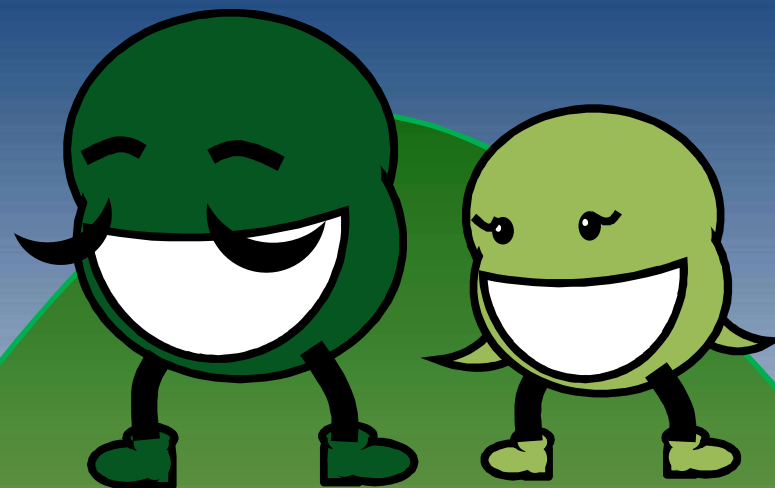
こだまの やっほーが、やまのなかを とびまわります。



すると、やっほーとうさんが、ぼくを よびました。

「やっほー、しごとだぞ」

やっほーかあさんも、いっしょです。



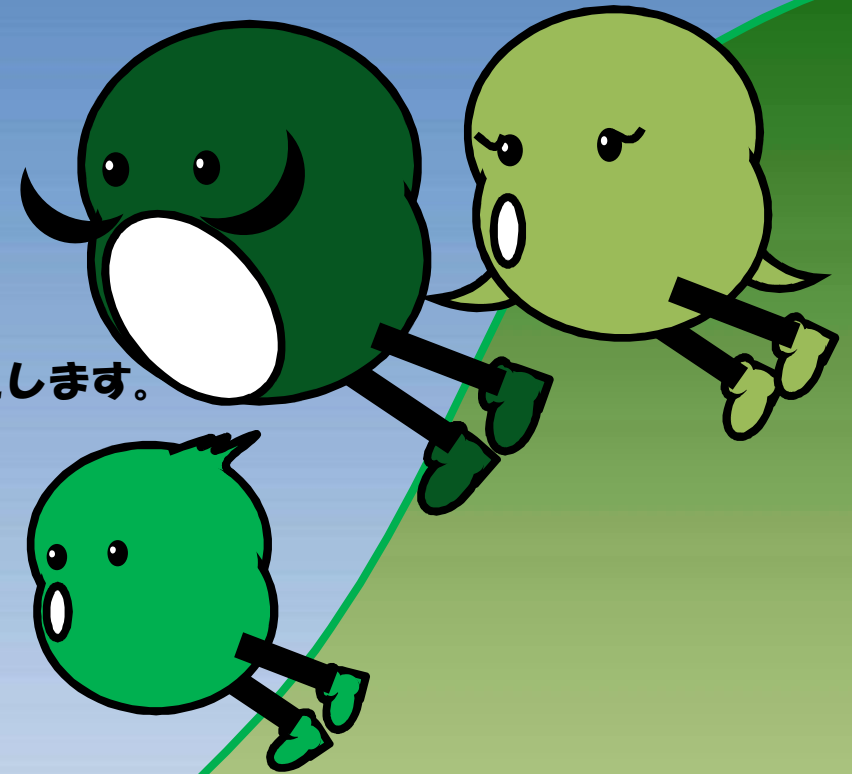
しばらくすると、たにの ほうから おとこのひとの こえが きこえてきました。

「やっほー、やっほっほ」

よし、とうさんの でぼんだ。

「やっほー、やっほっほ」

やっほーとうさんが、にんげんの こえに あわせて かえします。



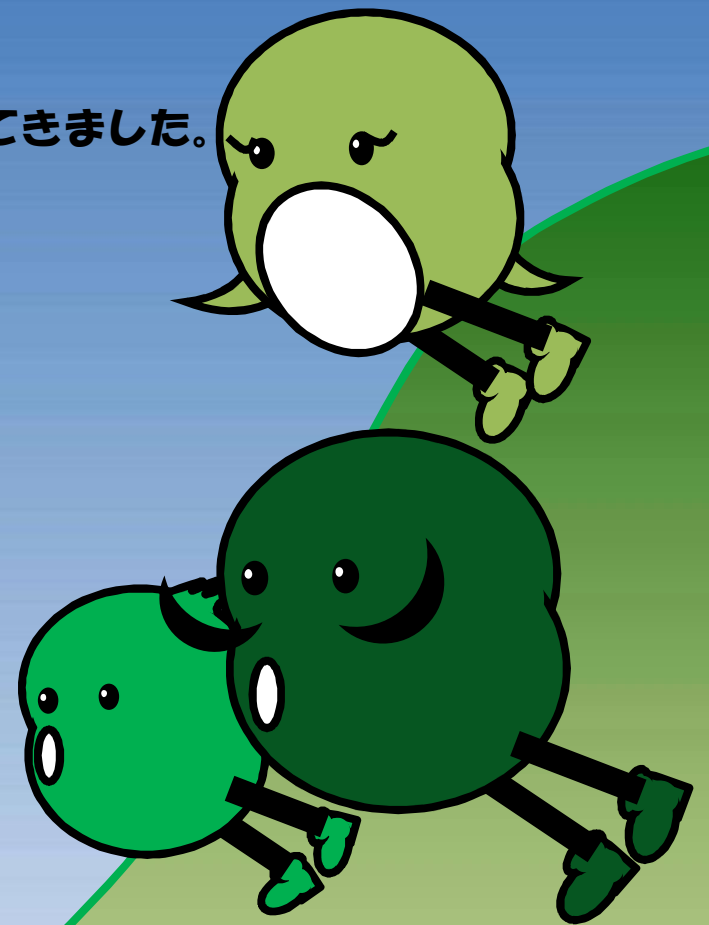
またしばらくすると、こんどは おんなのひとの こえが きこえてきました。

「やっほー、やっほー」

こんどは、かあさんの ぼんね。

「やっほー、やっほー」

やっほーかあさんが、にんげんの こえに あわせて かえします。



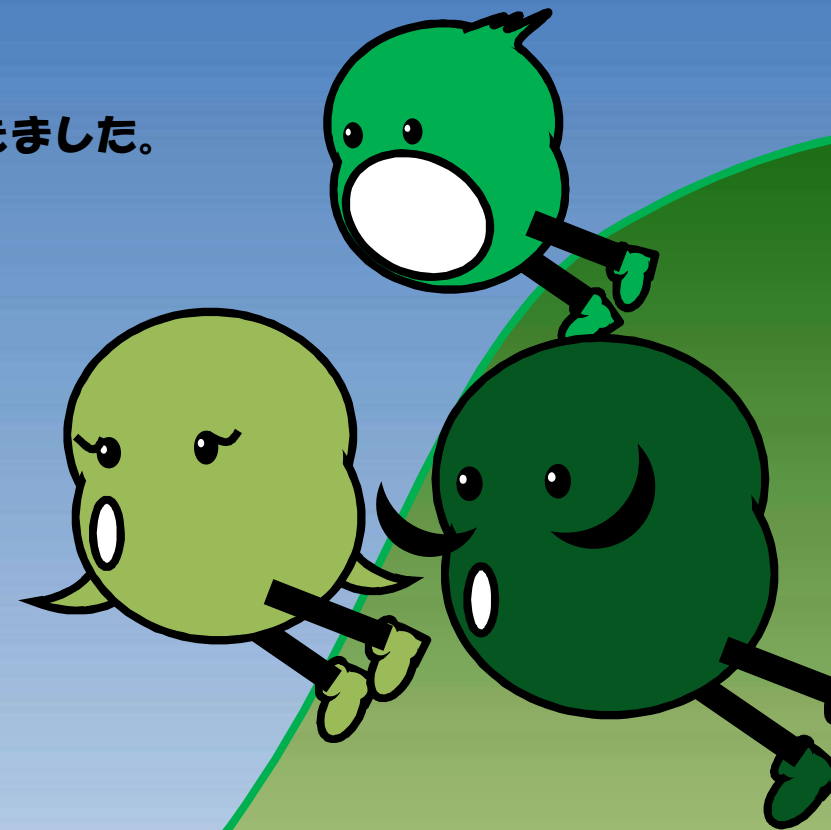
またしばらくすると、こんどは こどもの こえが きこえてきました。

「やっほー、ぽ、ぽ、ぽー」

こんどは、ぼくの でぼんだね。

「やっほー、ぽ、ぽ、ぽー」

やっほーが、にんげんの こえに あわせて かえします。



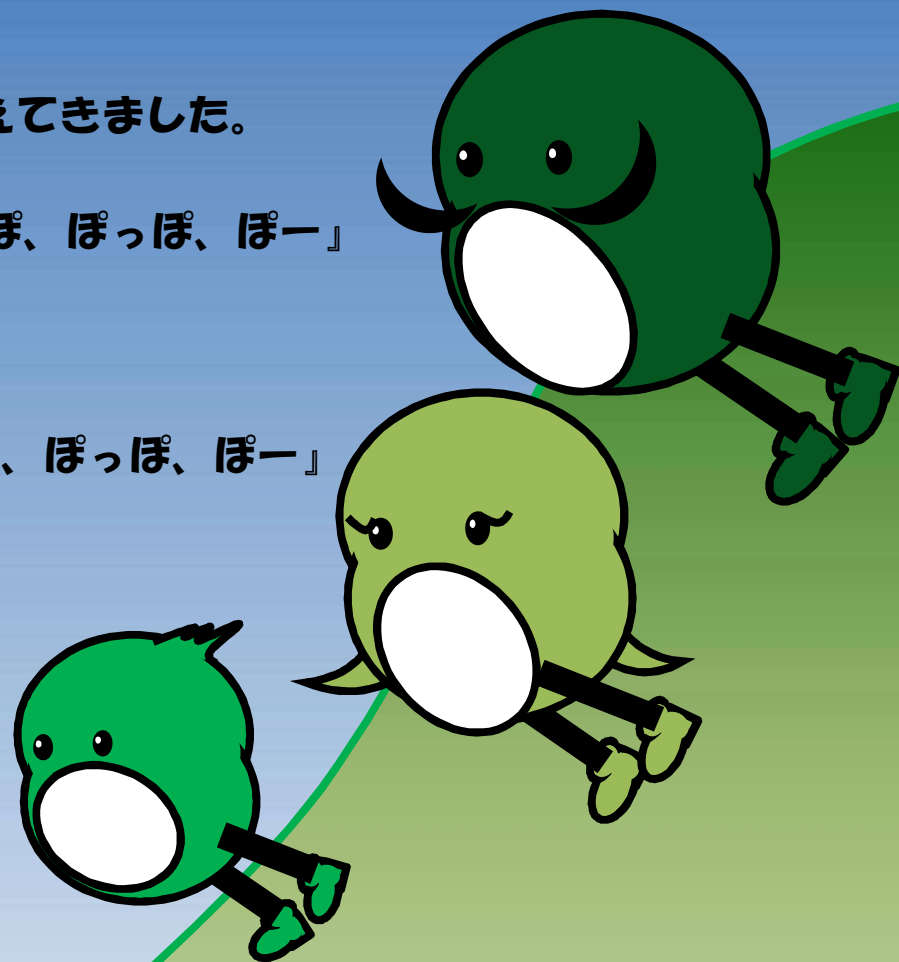
またしばらくすると、こんどは みんなの こえが きこえてきました。

「やっほー、やっほー」「やっほー、や、ほ、ほ」「ぽ、ぽ、ぽっぽ、ぽー」

じゃあ、みんなで いくぞ。いいか。

「やっほー、やっほー」「やっほー、や、ほ、ほ」「ぽ、ぽ、ぽっぽ、ぽー」

みんなで、にんげんの こえに あわせて かえします。





「やっほー、じょうずに なったな」

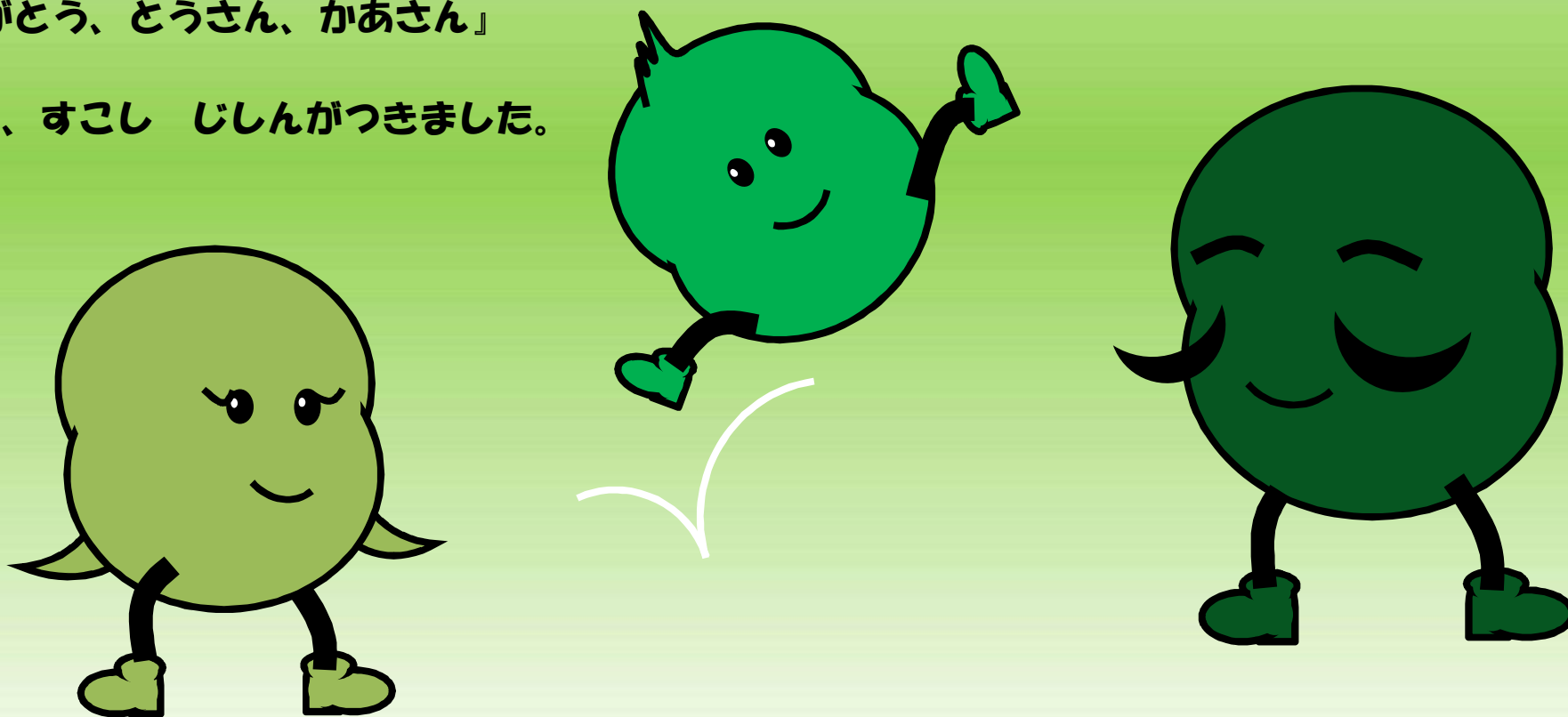
やっほーとうさんが、ぼくを ほめてくれました。

「やっほー、とうさんの いうとおり、とっても じょうずだったわ」

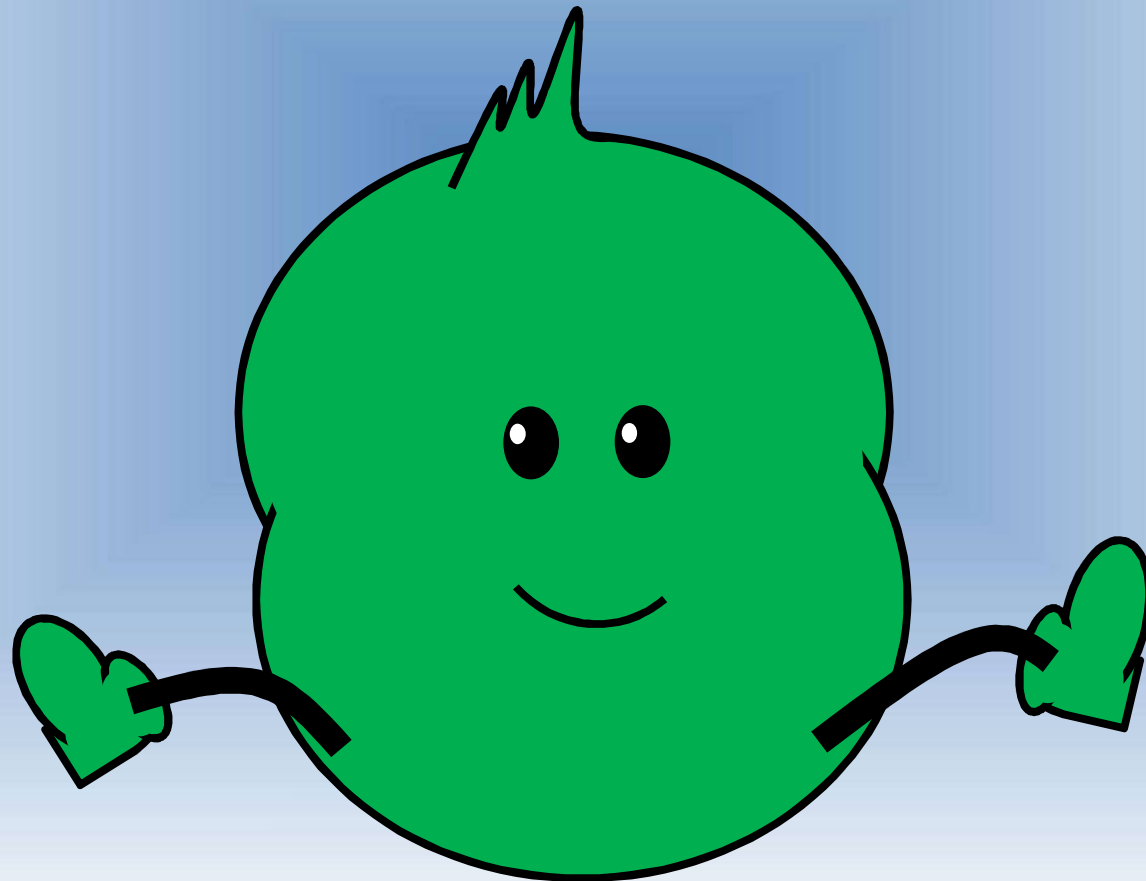
やっほーかあさんも、ぼくを ほめてくれました。

「ありがとう、とうさん、かあさん」

ぼくは、すこし じしんがつかしました。



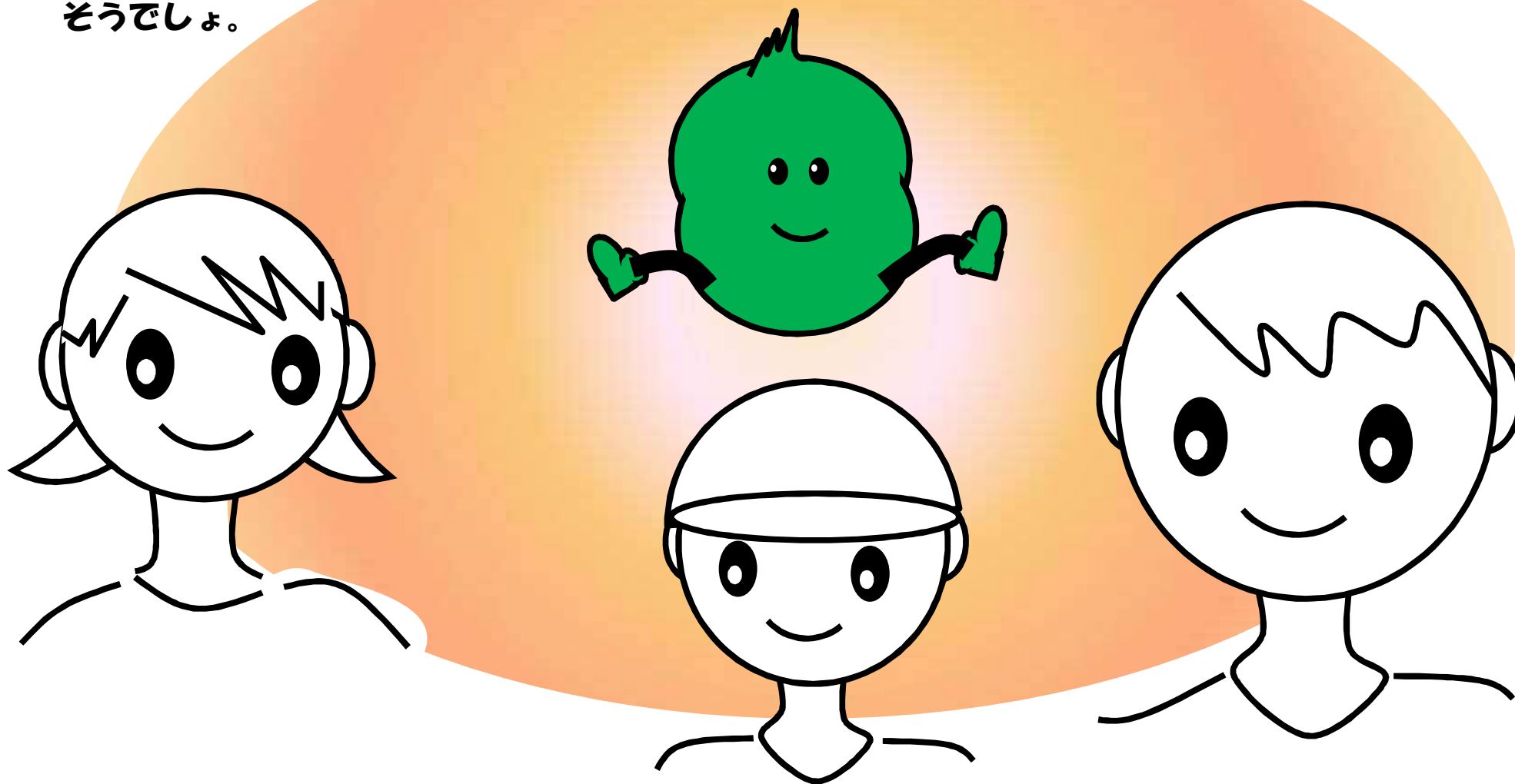
ぼくたち こだまの しごとは、にんげんたちが たにから さけんだ ことばを、  
やまがわから まちがわないように、おなじ ことばを かえすことです。  
じみですけど、とても やりがいのある しごとです。



だって、ぼくたちが きちんと、ことばを かえすことで、

みんなが、みんな、えがおに なってくれるんだもん。

そうでしょ。



きょうも どこかで、こだまが ひびきます。

こだまの かずだけ、えがおが あります。

みんなも、やまへ いったら、おもいっきり さけんでみましょう。

みんなも、しぜんに きもちが すっきりするでしょう。

「やっほー、やっほー」

けど、まちがった こだまが かえってきても ゆるしあげてね。

「やっほー、やっほー」

こだまたちも、いっしょうけんめい やっているからね。

